

刈羽小だより



令和3年2月26日
No. 11

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

文部科学省の諮問機関である中央教育審議会は、平成31年4月に文部科学大臣から「新しい時代の初等中等教育の在り方について」を諮問されたことを受け、令和3年1月26日(火)に「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)を取りまとめました。

この答申の中で「2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿」として、

①個別最適な学び

②協働的な学び

を提示しています。

「①個別最適な学び」においては、「支援が必要な子供により重点的な指導を行うことなど効果的な指導を実現」し、「特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定」する「指導の個別化」と「子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供」する「学習の個性化」を進めることが大切であり、そのために「ICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」を充実していくことが重要」としてしています。

「②協働的な学び」においては、「探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、「協働的な学び」を充実することも重要」としてしています。そのためには、「教師と子供、子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、地域社会での体験活動」や「同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや、ICTの活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子供等との学び合い」が大切であるとしています。

刈羽学校では、1人1台タブレットが家庭でも使え、各教室で電子黒板を活用できる環境が整いました。こうしたICT環境を積極的に活用することで、「①個別最適な学び」「②協働的な学び」の実現に向けて取り組んでまいります。

「①個別最適な学び」では、まずはAI機能を活用したドリル学習が有効と考えています。「その子」がどこでつまづいているかを判断し、「その子」に最適な学習が可能になると考えています。

「②協働的な学び」では、Zoom等を活用したWeb会議サービスが有効と考えています。これまでは離れた地域との交流は現地を訪れなければ無理でした。しかし、この機能を活用することで、国内外のどこでもつながることができます。直接関わることの有効性は残しつつ、これまでは不可能だった地域との関わりを探っていきたいと思います。

刈羽小学校では、新たなチャレンジをしながら、「①個別最適な学び」「②協働的な学び」の実現に向けて取り組んでまいります。



iPad の操作を練習する2年生

校長 佐藤 克己

1・2月の出来事

5年生 防災ジャパング授業

1月21日

1月21日(木)に、損保ジャパン株式会社から5名の方が来校され、5年生に保健の学習内容である「交通事故の防止」について分かりやすく授業をしていただきました。

その後、身の回りにある物を使って、応急手当の体験をしました。多くの子どもたちは、初めての経験でしたが、真剣に取り組みました。応急手当の仕方は、大人になっても役立つものです。短い時間でしたが、貴重な体験をすることができました。



2年生 命の出前授業

1月22日

1月22日(金)に、2年生の子どもたちと保護者を対象にした助産師の若林道代様による、命の出前授業がありました。

若林様からは、命の大切さや大切な体、お母さんのおなかの中で赤ちゃんが大きく育っていく様子について授業をしていただきました。分かりやすい説明と道具を使った授業に、親子で改めて、命の大切さを学ぶことができました。



4年生 新1年生との交流会

1月28日

1月28日(木)に第2回移行学級があり、4年生が新1年生と交流会を行いました。4年生の子どもたちは新1年生に「学校は楽しいところだよ」と思ってもらえるように、「学校すごろく」や「学校借り物」「トランプ遊び」など、工夫をして交流をしていました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、大勢での活動はできないため、6会場を使って少人数に分かれて、交流しました。



1年生 そり遊び

2月4日

2月4日(木)に、1年生は長岡市の国営越後丘陵公園にそり遊びに行ってきました。今年は雪がたっぷりあり、思う存分滑ることができました。

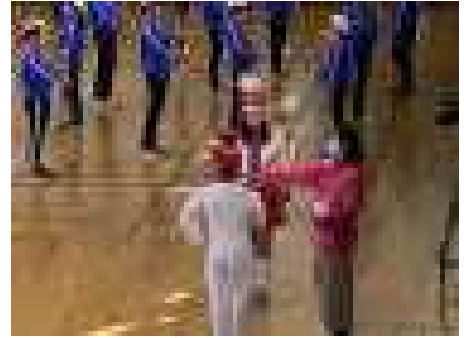
初めは怖がっていた子どもたちも、慣れてくるとかなりのスピードを出してそり遊びを楽しんでいました。刈羽ではなかなかできないそり遊びに、子どもたちは大喜びでした。そり遊びの後は、建物の中で咲いていたチューリップの前で記念撮影をしました。冬を満喫した1日となりました。



マーチング移杖式、PTA学年・専門委員会、評議員会

2月12日

2月12日(金)に、マーチング移杖式がありました。6年生が演奏する最後のマーチングでした。今年度はマーチング演奏をする機会がなく、昨年度の移杖式以来、1年ぶりの演奏でした。短い練習時間にもかかわらず、5・6年生による素晴らしい演奏でした。主指揮のバトンが6年生の小林和真さんから5年生の遠藤佑莉さんに渡され、他の楽器も4・5年生に渡されました。マーチング移杖式後の、PTA学年・専門委員会、評議員会にも多くのご参加をいただき、ありがとうございました。



2年生 雪上運動会

2月12日

2月12日(金)に、2年生が雪上運動会を行いました。当初、PTA親子活動で柏崎アクアパークでスケートを計画していたのですが、実施間近で新型コロナウイルス感染症の感染確認があったため、急遽子どもだけの雪上運動会となりました。

当日は天候にも恵まれ、子どもたちはグラウンドの雪原で、そりレースなど雪国ならではの運動会を楽しみました。



3年生 「ラピカ」見学

2月16・18日

2月16日(火)に2組が、18日(木)に1組が、生涯学習センター「ラピカ」の見学に行きました。普段からよく利用している「ラピカ」ですが、文化ホール2階の照明・音声の調整室や、トレーニングルームなど、今回は普段入ることができない部屋等を特別に見せていただきました。また、アリーナでは、1周147mのコースをペースを決めて走ってみました。今回の見学で、「ラピカ」をもっと利用したくなりました。



1年生 昔の遊び体験

2月19日

2月19日(金)に、刈羽村レクリエーション協会の方からおいでいただき、昔の遊び体験を行いました。今回は3名の方からおいでいただき、「コマ」「紙飛行機」「竹とんぼ・ゴリゴリゴマ」の3コーナーで体験しました。

「コマ」では最初なかなかうまく回せなかった子どもたちも教わってうまく回せるようになりました。手作りおもちゃの楽しさに触れることができた、貴重な時間となりました。



校内縄跳び記録会をしました

例年実施していましたが校内長縄記録会は新型コロナウイルス感染症への対応のため実施せず、今年度は短縄による個人の縄跳び記録会を1月22日(金)に実施しました。

今回は、全学年共通種目の前まわしとびと、各学年で設定した3種目から1種目を選ぶ選択種目の2種類で記録をとりました。各学年の種目ごとの最高記録は、次のとおりでした。



学年	跳び方	名前	回数	学年	跳び方	名前	回数	
1	前まわしとび	室星 七海	136	4	前まわしとび	小川恵多郎	250	
	後ろまわしとび	室星 七海	105		後ろまわしとび	山崎 真紘	140	
	前交差とび	横田 唯愛	64		前あやとび	加納 百花	113	
						前二重とび	小林 祐匡	80
2	前まわしとび	土田 秀成	181	5	前まわしとび	三宮 澄海	179	
	前かけ足とび	坂本 瑚空	135		前かけ足とび	常山 幸佑	137	
	前交差とび	大塚瑠希哉	144		前あやとび	渡邊 妃菜	100	
	前あやとび	中林 莉希	64		前二重とび	鬼山 結翔	85	
						前まわしとび	小林 和真	176
3	前まわしとび	小林 蓮	177	6	前かけ足とび	福地 琉礼	160	
	前かけ足とび	中澤 江蓮	185		前二重とび	品田 莉希	78	
	前あやとび	遠藤 佑真	96		はやぶさとび	近藤 優翔	48	
	前交差とび	堀田 優羽	35					

6年生に感謝の気持ちを伝えたい！

2月の生活目標は、「感謝の気持ちを伝えよう」です。お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと、ファミリー班の6年生の似顔絵を描いたり、「卒業おめでとう」のメッセージを書いたりする活動を、各学年で取り組んでいます。

また、昼休みに学年ごとに6年生と一緒に遊び、思い出をつくる活動も行っています。たくさんの6年生との思い出ができるといいですね。



1年生と6年生の「だるまさんがころんだ」

3月の主な予定

2日(火)	全校朝会
3日(水)	刈羽中卒業式 6年生保護者に感謝する会 制服引き渡し
5日(金)	委員会(最終)
8日(月)	5限放課(15日まで)
12日(金)	全村あいさつ運動
15日(月)	清掃強調日① スクールカウンセラー来校
17日(水)	清掃強調日②
20日(土)	春分の日 刈羽村成人式
22日(月)	給食最終日
23日(火)	後期終業式
24日(水)	第42回卒業証書授与式 卒業生、保護者のみ参加
25日(木)	学年末・学年始休業(4月6日まで) 離任式
26日(金)	かりわ保育園卒園式